



今年は人間ディスクドッグも行われました

喜びが大きいことを体験しま

6月7日、8日の2日間にわたって「ディスクドッグジャパンカップ2008」が開催されました。

6回目となりました。9か月の予選を経て、全国から参加される選手の間では、「鳥羽へ行こう」が合言葉

木田市長の



ど〜んと

真珠のように輝くまちづくりのために

コミュニケーション

vol.35

「ディスクドッグの聖地・鳥羽」

した。ディスクドッグの聖地鳥羽として、市民運動会や各学校の運動会にも、人間ディスクドッグの競技を取り入れていけば、面白いのではないかと感じました。

今年のは、人間ディスクドッグも同時に開催されました。犬の代わりに3人の人間が走って、ディスクを受けるというもので、13チームの参加があり、会場を大いに沸かせました。わたしも「市長と3匹の侍」というチーム名で、市職員とともに参加しました。

市民課では、人権に関する本を貸し出すといえ、まず図書館を思い浮かべると思いますが、それとは別に、市民課で人権に関する本の貸し出しをしているのをご存じでしょうか。

市民課では、人権に関する本を貸し出すといえ、まず図書館を思い浮かべると思いますが、それとは別に、市民課で人権に関する本の貸し出しをしているのをご存じでしょうか。

人権文化の花を咲かせよう

Vol.74

の絵本など、親しみやすい本もあります。21世紀は人権の世紀といわれています。しかし、最近では、インターネットを使った差別的な書き込みなどの人権侵害が後を絶たず、数々の問題が発生しています。

多くのかたがたが、差別をなくしようと長年努力を重ねてきたにもかかわらず、まだまだこうした差別があります。人権に関する本を読むことによって、さまざまな差別や人権問題について考え、差別を少しでもなくすための一助にしてほしいと思います。

市民課前の本棚には、約200冊の本があります。貸し出し期間は2週間、一度に10冊まで借りられます。なお、市民課では、図書館で借りた本の返却も受け付けています。こうした機会を利用して、たくさんの方に触れてください。みなさんのご利用をお待ちしています。

